



稲置地区 地域計画 課題と将来の方向性 ダイジェスト版

【稲置地区の農用地等面積】 163.7 ha

うち 【田】 119.1 ha 【畑】 44 ha

（農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 145.6 ha）

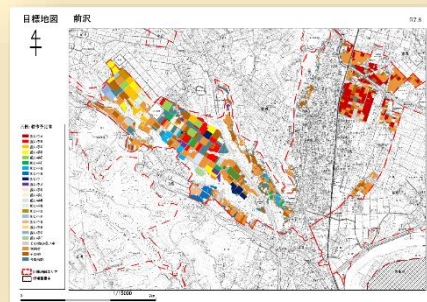
- ・今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 9.5ha
- ・稲置地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 37.7 ha
- ・主な生産品目：水稲、大豆、果樹（りんご）、トマト、肉用牛（肥育、繁殖）など

（令和7年8月 26 日現在）

地域農業の課題

- ― 1. 農業の高齢化・担い手不足
 - ― 法人も含めて高齢化が顕著
 - ― 農業を継ぐ後継者がほとんどいない
- ― 2. 担い手不足による耕作放棄・受け手問題
 - ― 水田は営農組合が管理
 - ― りんご畑は受け手がいない見込み
- ― 3. りんご農家の課題
 - ― 今後の存続や受け継ぐ人材が不在
- ― 4. 不在地主問題
 - ― 対応策が必要
- ― 5. 農地保全管理の難しさ
 - ― 草刈りなど各農家で対応しているが限界も

稲置地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか？」、「困り事ありますか？」、「やってみたい農業はありますか？」など、話し合ってみてはいかがでしょうか。

地域農業の方向性

- 1. 生産品目の継続
 - 主作物: 水稲、大豆、果樹(りんご)、トマト、肉用牛
 - 引き続き現状品目に取り組む
- 2. 担い手への土地集積・集約
 - 営農が困難な農地は保全管理へ
 - 農地中間管理機構への貸付を活用
- 3. スマート農業の導入
 - 担い手不足への対応
- 4. 複合経営担い手の確保・育成
- 5. りんご農業の継続
 - 現在の取り組みを維持
- 6. 作業受託の効率化
 - 更なる話し合いや作業の集約化

このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記QRコードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室 (TEL 0197-34-2371)

